

令和元年度 経営目標の達成状況（コロナウイルス感染症の影響を受けた経営目標）

I. 最重点目標(成果測定指標)							
戦略目標	成果測定指標	単位	H30実績	R1目標	R1実績	R1実績 ※新型コロナウイルスの影響を受けなかった場合の実績[推計]	ウェイト
① 国際会議の誘致・開催	国際会議の開催件数と成約件数 (国際会議とは、日本政府観光局(JNTO)国際会議統計基準により次の①～④を全て満たす会議。①主催者:国際機関・国際団体(各国支部を含む)又は国家機関・国内団体(各々の定義が明確でないため民間企業以外は全て)②参加者総数:50名以上③参加国:日本を含む3か国以上④開催期間:1日以上) <成約件数>	件	66 <60>	60 <55>	57 <55>	61 <61>	40

未達成の要因と分析	<p>■ 令和元年度は国際会議 61 件の開催を見込んでいたが、新型コロナウイルスの影響によるキャンセルが発生（2月：3件中1件、3月：3件中3件）した結果、最終的な開催件数は57件となり、目標を下回った。</p> <p>■ また、国際会議の成約についても、一度は61件まで到達したものの、新型コロナウイルスの影響によって令和2年3月末時点で既に6件のキャンセルが発生しており、当該年度に得られた成約件数は最終的に55件となった。</p>
-----------	---

新型コロナウイルスの影響を受け、目標未達成となった「R1実績」内訳等詳細〔推計〕

新型コロナウイルスの影響が世界的に顕在化した2月以降、当施設で開催予定であった国際会議のキャンセルが発生			
<b>【国際会議開催のキャンセル〔4件〕】</b> ※キャンセル連絡受付時に理由を確認→全件とも、世界的なコロナ禍による感染症拡大防止等の観点から断念したものと、確認済み			
2月：The 6th International Nursing Research Conference of World Academy Nursing Science	CXL日	2020.2.26	開催日 2020.2.27～29
：一般社団法人 日本発達心理学会 第31回大会	CXL日	2020.2.28	開催日 2020.3.2～4
3月：JSPS Core-to-Core Program 「数理腫瘍学 国際研究ネットワークの構築」	CXL日	2020.3.5	開催日 2020.3.23～27
：5th International Conference on Manufacturing, Material and Metallurgical Engineering (ICMME2020)	CXL日	2020.3.23	開催日 2020.3.28～30
<b>【国際会議成約のキャンセル〔6件〕】</b>			
2月：海藻ブルーカーボンに関する国際ワークショップ・シンポジウム	CXL日	2020.2.28	開催日 2020.4.6～8
3月：2020 2 <sup>nd</sup> International Conference on Management Science and Industrial Engineering (MSIE 2020)	CXL日	2020.3.9	開催日 2020.4.7～8
：5th International Conference on Manufacturing, Material and Metallurgical Engineering (ICMME2020)	CXL日	2020.3.23	開催日 2020.3.28～30
：Focus on Microscopy 2020 Conference	CXL日	2020.3.26	開催日 2020.4.5～8
：The International Conference on Global Islamic Studies & Muslim Affairs 2020 (GISMA20)	CXL日	2020.3.27	開催日 2020.7.6
：国際ロータリー第2660地区 2020-21年度地区大会	CXL日	2020.3.27	開催日 2020.12.11～12

## 令和元年度 経営目標の達成状況（コロナウイルス感染症の影響を受けた経営目標）

## Ⅲ. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)

戦略目標	成果測定指標	単位	H30実績	R1目標	R1実績	R1実績 ※新型コロナウイルスの影響を受けなかった場合の実績〔推計〕	ウェイト
④ 財務基盤の確保	営業売上 (施設利用収入+サービス事業収入)	百万円	1,944	1,977	1,856	1,947	15
⑤ 効率的な運営	営業利益	百万円	82	31	36	77	10
	営業利益率 ※計算式1(～H30)＝施設利用収入－(営業費用－府納付金)／施設利用収入 ※計算式2(H31～)＝営業売上－(営業費用－府納付金)／営業売上 営業売上＝施設利用収入+サービス事業収入	%	23.3	23.9	25.8	26.7	5

未達成の  
要因と分析

- 平成30年度は1件1,000万円を超える大型催事が37件開催されたのに対し、令和元年度は28件にとどまっており、全体として小型案件が多く、会場費にあたる施設利用料及び附帯設備料等が伸びなかった。これは、主要都市を持ち回りで開催する大型の医学系学術会議が集中した年のあとの2～3年は全体として小ぶりの会議が多くなるため。
- サービス事業の柱と想定していた弁当事業が業者との調整等に時間を要し、事業開始が遅れたこと。
- また、新型コロナの影響については、施設利用料はキャンセルがあった場合でもキャンセル料として売上計上するが、附帯設備料、催事関連収入等のサービス事業は売上計上できないため、売上が大きく落ち込んだ。

## 新型コロナウイルスの影響を受け、目標未達成となった「R1実績」内訳等詳細〔推計〕

新型コロナウイルスの影響を受けて令和2年2・3月の催事開催件数が大幅に減少し、①～③の減収となった。

① 催事のキャンセルに伴い、サービス事業収入が減少。 ⇒ **38,821千円**

※キャンセルになった施設利用収入は97,053千円 →  $97,053 \times 0.4 = 38,821.2$

② R2年1月末以降の受注が減少。 ⇒ **15,076千円**

※2・3月の受注による施設利用収入について、過去3ヵ年平均は10,768.3千円（H28年度:12,825、H29年度:8,446、H30年度:11,034） →  $10,768.3 \times (1+0.4) = 15,075.62$

※サービス事業収入を推計する乗率0.4は、H30年度及びR1年度の施設利用収入とサービス事業収入（\*売上管理手数料収入及び新サービス収入を除く。）の実績から算定。

③ 弁当（令和元年度より、委託から直販に変更）の売上が減少。 ⇒ **46,751千円**

※2・3月の売上について、過去3ヵ年平均は42,391.9千円（H28年度:43,810,271、H29年度:41,451,889、H30年度:41,913,496） →  $42,391.9 \times 1.15 - 2,000 = 46,750.7$

※弁当の主力商品の単価は従来1,300円だったが、直販変更後は1,500円・・・ $1500 \text{円} \div 1300 \text{円} = 1.15$

※なお、R2年2・3月の弁当売上の実績は2,000千円

以上より、新型コロナウイルスの影響を受けなかった場合には、①+②+③=**100,648千円（約101百万円）**の増収が見込まれた。・・・☆

また、施設利用収入のうち消費税分は、本来預り金として計上するため、R1実績の1,856百万円から、キャンセル料に係る消費税分を差し引く必要がある。

⇒ $106,758(\text{キャンセル料} \cdot \text{税込}) - 97,053 = \Delta 9,705 \text{千円（約10百万円）}$ ・・・★

以上より、コロナの影響を受けなかった場合の営業売上は、**実績1,856百万円 - 10百万円（★） + 101百万円（☆） = 1,947百万円**となる。

なお、上記の場合、費用については弁当直販に係る仕入れ費用38,335千円と、催事関連費用12,938千円の合計**51,273千円**の増加が想定される。

⇒**営業利益**＝営業売上（実績値2,163百万円+増加推計値91百万円）－営業費用（実績値2,126百万円+増加51百万円）=**77百万円**

⇒**営業利益率**＝営業売上－（営業費用－府納付金750百万円）／営業売上=**26.7%**